



# 港 防災だより

No.14 (号外)

2014年(平成26年)2月10日

発行人/四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 奥村吉孝

## 『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。

(例. 埋立地(地震に弱い)、海岸線(津波に弱い)、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化率40.3%)  
これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民/企業/行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

## 第18回 防災まちづくり大賞

### 日本防火・防災協会会長賞受賞

防災まちづくり大賞は、近年の大規模災害を踏まえて、防災や住宅防火に関する優れたアイデアや工夫、取組み等を行っている団体・組織を表彰するものです。

港地区の「高齢化地域における福祉と防災が一体化したまちづくり」が日本防火・防災協会会長賞を受賞し、2月6日(木)中央合同庁舎(東京)で行われた表彰式において表彰されました。

当日は奥村会長・桑内防災リーダーが出席しました。

交流会会場にて 消防庁長官(中央)と

交流会会場にて 消防庁長官(中央)と



式典会場にて表彰状を手  
に奥村会長・桑  
内リーダー





受賞の決め手は、自主防の目的が**要援護者をはじめとした地区住民一人ひとりに手が届く支援**という大きな課題に着目し、そこに向かって組織として取り組む課題・地域住民自身が考える課題とをきちんと見据え、今までの取組を膨らませて活動した成果だと思えます。小さな町の高齢者問題を抱えるなかでの受賞は、先駆者的な取組だと評価されたようです。

今年度は、新しい取組 HUG 体験・6 か所に分かれた津波避難訓練・面白防災講座・防災ずきんづくり・防災食の試食・要援護者にならないための体力づくり等自主防の役員だけでなく住民が発案した取組が並行して行われたことにより住民の意識レベルが格段に上がり、防災を語ることが特別でないことに徐々に変わってきており、その中には女性の発言を取り入れた男女共同の活動があり、まさに、自助・共助の原点だと改めて受賞を機に感じました。

これからも一番星で輝き続けていくことを『よって・たかって』進めていきましょう！！  
(奥村)

#### 《防災委員》

荒川 博	飯田剛生	家城宏光	池田輝雄	奥村吉孝
加藤忠明	加藤 亘	川崎光俊	桑内利雄	小崎重夫
鈴木完一	瀬川 宏	堤 明	堤 利臣	寺井 勝
中島守夫	長谷川雄俊	波多野 通	樋口俊夫	平尾隆俊
山田正幸				(敬称略・五十音順)

#### 《協力企業》

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所
風薫会	協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)
コスモ石油(株)	佐藤クリニック	三エスゴム(株)	JSR(株)
昭昭和電工ガスプロダクツ(株)		住友電装(株)	第一工業製薬(株)
大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	高砂建設(株)
中部海運(株)	中部電力(株)四日市火力発電所		中日本建設(株)
東ソー(株)	東邦ガス(株)	東陽興業(株)	日本板硝子(株)
日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)
日本トランスシティ(株)	(株)ニヤクコーポレーション		林興業(株)
三菱化学(株)	四日市海運(株)	四日市電機(株)	四日市港郵便局
			(五十音順)



#### 編集後記

地域活動を活発に行っているにもかかわらずなかなか日の目を見ないことが多い。今回の賞までの活動整理を手伝うなか、多くの会議や防災イベントを一生懸命行い、継続していく地域力を改めて感じた。コンビナートに隣接した小さい地域だからこそできた活動かもしれないが、日々の積み重ねの努力へのご褒美の受賞であったと思う。これからも先駆者としてのこの活動を応援していきたい。

おめでとうございます♡ 中部地区市民センター地域マネージャー 後藤